

「顔の印象を決定するパーツ」第1位「目」 ドクター直伝！目元老化の原因と予防法 若々しいパッチリな目をキープする秘訣とは？

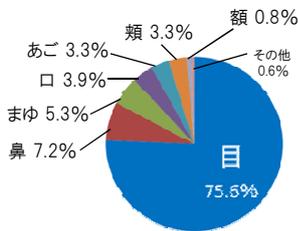
2017年も残すところあとわずかとなりました。忘年会やお正月、新年会などのイベントに心躍らせている方も多いことでしょう。久しぶりに会った友人に「老けた」と思われたくない方必見！今回は、顔の印象を決める「目元」の老化についてお伝えします。株式会社ドクターシーラボ(本社：東京都渋谷区 代表取締役社長：石原智美)は、シロノクリニック恵比寿院 副院長 中川桂先生に「目元老化」に関する取材をいたしましたのでご報告いたします。

(調査概要：Webアンケート / 2017年12月12日～14日 / 30歳～49歳 男女361名)

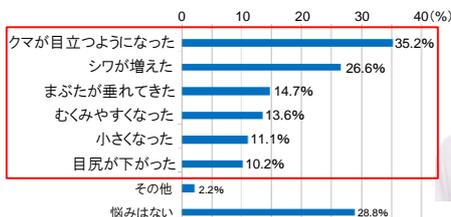
年々小さくなる目元にストップ！

アンケート調査によると、「顔の印象を決定している最も重要なパーツは「目」と感じている人は全体の7割にも上りました。しかし一方で昔と比較して、「クマが目立つ」、「シワが増えた」、「まぶたが垂れた」など、多くの人が辛い現実に直面している様子。そこでドクターシーラボでは、目元老化の原因とその対処法について、ドクターに伺いました。

Q. 顔の印象を決定する最も重要なパーツは？(N=361)



Q. 若い頃と比較して、どのような目元の悩みが増えましたか？(N=361)



中川 桂 先生
シロノクリニック恵比寿院 副院長

加齢によっておこる目元の変化とは？

Q. 目元のくすみやくま、シワだけでなく、昔と比べると「目が小さくなった」と感じている方も多いのでは？加齢によって現れる目元の変化を教えてください。

中川副院長 「年齢とともに、眼球が入っているくぼみ部分、「眼窩(がんか)」の骨吸収が進みます。すると、**上まぶたがくぼんだり垂れてくるなどの変化**が現れます。また目の周りを覆っている眼輪筋の筋力が低下することで**目の下の眼窩脂肪が前方に押し出され膨らみとなってぼっこり出てきます。**

さらに、コラーゲン産生不足により目周りの小ジワも目立つようになり見た目の目元印象を変えてしまいます。」



眼瞼下垂(がんけんかすい)とは？

Q. 目元のトラブルでよく耳にする「眼瞼下垂」。加齢が原因の一つとも聞きますが、これは一体どのような症状なのでしょう？

中川副院長 「眼瞼下垂とは、まぶたが垂れ下がったまま目が開きにくくなる症状のこと。主に後天性の眼瞼下垂は**まぶたの縁にある眼板(けんばん)やまぶたを持ち上げる役割の眼瞼挙筋(がんけんきょきん)がゆるみ、まぶたが目にかかり、視界が狭まるなどの症状が現れます。**また、老化による皮膚のたるみも眼瞼下垂の原因になります。最近では、**スマートフォンの長時間使用により若年性で起こるケース**も見られるようになってきました。重度の場合は外科的処置が必要になるケースもあります。」

目元周りの老化に有効なケアは？

中川副院長 「目元のたるみや小ジワが気になる方は、まずは**毎日ケアを行うことから**始めてみましょう。目元周りは皮膚が薄いため、意識的に**保湿のケア**を行う必要があります。また、日頃から**目元のマッサージや目周りの筋力トレーニング**を行うのも効果的。ただし、やりすぎはNG。皮膚を伸ばしすぎてしまうことで、たるみの原因にもなってしまいます。目に負担をかけない正しい方法で行うように心がけましょう。」

本取材の動画【目元の老化】はこちらから
→ <https://www.youtube.com/watch?v=Ca5UQjepTKM>



ドクターシーラボおすすめの目元マッサージ

目元の正しいマッサージ方法が分からない、つい力を入れすぎてしまいそうで自信がないという方には、**アイケアとマッサージが一度にできるアプリケーション付きのアイクリーム**を使用するのがおすすめです。右図のように、アイクリームを適量出して、アプリケーション部分を目元にあてながら、内から外へとやさしくなじませます。目元のツボを刺激しながら目元のマッサージができます。



アプリケーション



＝本件に関するお問い合わせ先＝

株式会社ドクターシーラボ 宣伝部 広報グループ：吉田 / 伊尾知 / 小田島 / 高江洲
TEL:03-6419-2508(直通) FAX:03-6419-2550 MAIL:koho@ci-labo.co.jp

メディカルコスメ®は株式会社ドクターシーラボの登録商標です。